

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に資する計画

2023 年度

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

項目	具体的な取組内容
1. 業務量の調整	業務量調査を行い、業務内容の見直しを図る 時間外労働を減らす
2. 看護職員と他職種との業務分担	薬剤師による入院患者のチェック リハビリ職による日常生活活動への介入、患者移動の実施 言語聴覚士が接触機能訓練を実施し、負担軽減を図る 放射線技師による検査時の患者移動業務 支援相談員による患者家族相談対応と入退院調整の分担 栄養部職員との配膳業務の分担 歯科衛生士による口腔内チェックと口腔ケアの分担 宿直（夜警）者による 19：30～21：00 の電話、ナースコール対応、不穏者見守り対応 CS セット導入による在庫管理業務と家族への連絡回数の減少
3. 看護補助者の配置	看護補助者による業務分担の実施 クラークによる入院時説明、家族との連絡業務分担
4. 短時間正規雇用の看護職員の活用	短時間正規雇用の看護職員の配置
5. 多様な勤務形態の導入	時短勤務 夜勤の免除 指定休（希望休）の対応、勤務表の配慮
6. 妊婦・子育て中・介護中の看護職員に対する配慮	夜勤の免除 半日の有給休暇制度の実施 時短勤務、勤務形態についての個別相談及び対応 子の看護休暇

夜勤における看護業務の負担軽減に資する業務管理

項目	具体的な取組内容
夜勤者の業務負担軽減を図る	連続夜勤はしない 早番、遅番などによる繁忙時間帯の業務分担配慮 看護補助者の遅番業務